

「川崎病の治療抵抗例および心合併症発症例等に関する後方視的検討」のお願いとお知らせ

1. 研究の対象

1998年10月1日～2015年12月31日の期間に当院に川崎病で入院された方
1998年10月1日～2015年12月31日の期間に当院に肺炎、尿路感染症、ウイルス性発疹症等、発熱の原因を調べる目的で入院された方

2. 研究目的・方法

川崎病の重要な合併症として、冠動脈瘤（こぶ状の拡大）など冠動脈病変と呼ばれる心後遺症が知られています。現在ではガンマグロブリン大量療法とアスピリンの有効性が証明され、これらの治療により冠動脈病変の発生率は減少しました。しかし未だ冠動脈病変は10%の症例に発生しており、さらに冠動脈病変発生率を改善するための新たな治療戦略が求められています。

本研究は当院での川崎病の治療抵抗例および心合併症等の治療成績を明らかにするとともに臨床経過を分析し、より有効な治療指針を確立する事を目的としています。1998年10月1日から2015年12月31日の期間に防衛医科大学校病院に入院された川崎病患者さんを対象とした後方視的研究（過去の診療記録等から、さかのぼって調査・検討すること）により実施いたします。また、その際に肺炎、尿路感染症、ウイルス性発疹症等、発熱の原因を調べる目的で入院された患者さんの診察所見や血液検査・尿検査結果の臨床データとの比較検討も実施いたします。

本研究の研究期間は、平成28年5月24日から平成30年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：入院および外来診療録に記載された病歴、治療薬剤の種類 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校病院 小児科

川村 陽一（研究責任者）

TEL:04-2995-1511 内線 2330